

今号の特集

小牧市の市民活動助成金を活用しよう！

助成金申請のポイント



ポイント① 解決したい地域の課題は何か？を明確にしよう！

助成金を使って何をしたいかはもちろん、それをすることでどんな課題を解決したいのか、そして対象にどんな変化をもたらしたいのかを文章で表現しましょう。

ポイント② 十分に実施可能なスケジュール、体制を組もう！

助成金には税金が使われており、団体が実施する内容を提示した上で、十分な審査を経て交付されます。これは助成元の小牧市と「この内容を実施する」という約束をしたこととなります。約束通りに実施できないと団体の信用を損なってしまうことにもなりますから、十分に実施できる内容を申請しましょう。

市民活動助成金

現在行っている活動を活性化するための取組みをしたい団体への助成（団体助成）や他の団体と協力して取り組む事業などへの助成（事業助成）を行っています。

	団体助成（ひろげる部門）	事業助成（つなげる部門）
対象	市内で活動を継続し、団体の強化や会員の拡大、活動の活性化を目指す団体に補助	登録団体が実施するまたは登録団体と他組織（団体、企業など）が協働して実施する先駆性・創造性がある新たな事業経費を補助
助成金額	10万円（上限）	20万円（上限）
回数	1団体につき3回まで	1事業につき3回まで
補助率	1回目：80%、2回目：70% 3回目：60%	1回目：80%、2回目：70% 3回目：60%
対象経費	団体の運営、組織強化、具体的な市民活動に要する費用	補助対象事業の実施に係る費用

地域に還元チャレンジ助成金

市民活動団体の活動のみならず、生涯学習や趣味的な活動を行う団体がこれまで培ってきた“学びの成果を地域に還元”する活動まで助成対象を広げることにより、生涯学習や趣味的な活動から公益活動への展開を促すとともに、生きがいつくりと支え合いの地域づくりを促進することを目的とした支援制度です。

助成金額	5万円（上限）
回数	1団体につき2回まで
補助率	100%
対象経費	活動準備、運営、具体的な活動に要する費用

【応募資格】小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。

【受付期間】5月1日（月）（必着）までに、ワクティブこまきに、提出してください。

※必ず事前にご相談ください。

※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまき、市民センター等に設置してある募集要領をご覧ください。（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）

ワクティブこまきスタッフがテラスを飛び出して
団体活動の現場をレポートします！

みつけるつながるワクティブのわ



手まり塾では、子どもたちの学習をサポートして下さるボランティアの方を募集しています！

手まり塾

代表 | 荻谷 敏彦

設立 | 2019年

会員数 | 11人

活動内容 | 外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援

「手まり塾」
外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援 10月29日（土）

手まり塾は、桃花台で外国にルーツを持つ子どもたちのために学習支援を行っている団体です。児童館で毎週土曜日の十六時から十八時に活動しており、毎回十名ほどの子どもたちがボランティアの先生たちと一緒に、学校の宿題や日本語の勉強をしています。

桃花台にも日本語教育が必要な小中学生が増えてきているそうです。友達同士や先生とおしゃべりしながら、にぎやかな小学生の女の子たちもいれば、静かに勉強する中学生たちもいます。先生方も大学生、社会人、シニア世代など様々です。子どもたちが今日の宿題を始めると、先生方は子どもたちの隣で見守りながら、やさしく教えていました。

手まり塾のアドバイザーを務めるNPO法人にわたりの会の丹羽先生は「子どもたちは日本語で会話できますが、学習に必要な言葉を十分身につけるためには五〜七年必要です。そのため、日本人の子と同じ勉強をしても、思い通りに成績が伸びない、自分ではできないんだと悩んでしまう子どもが多い」といいます。また代表の荻谷さんは、「学習だけでなく、日本で生活していく上で欠かせない作法や、地域に助けられるふるまいについても伝えていきたい」といいます。

外国にルーツを持つ子どもたちが、小牧をふるさととして健やかに育っていく未来をつくっています。



ラポールではラポールカフェの送迎や福祉有償運送をお手伝いいただけるボランティアの方を募集しています！

**特定非営利活動法人
生活支援サービス・ラポール**

代表 | 大杉 富孝

設立 | 2019年

会員数 | 15人

活動内容 | 高齢者や障がいのある方への生活支援

「特定非営利活動法人
生活支援サービス・ラポール」
ラポールカフェ 11月7日（月）

特定非営利活動法人 生活支援サービス・ラポールは、東部地域の高齢者の生活を支援するため、送迎サポートや出かける場所づくりを行う団体です。令和元年に団体を立ち上げ、バス停まで歩くことが難しい方や、病院や買い物に一人で行けない方のために、目的地までの送り迎えを行う「福祉有償運送」の活動を行っています。

この日は毎週月曜日に開催する、地域の高齢者のためのサロン「ラポールカフェ」でした。十二時ごろからスタッフが参加者のお宅まで車で迎えに行き、十三時ごろからサロンが始まります。美味しいお茶やお菓子を食べながら参加者同士おしゃべりして過ごしたり、体操をする時間があったりと、あっという間の一時半でした。

代表の大杉さんは以前、高齢者の困りごとを手助けするボランティア活動をしていました。そのときに外に出る機会がない、近所に友達がいない高齢者の姿を目にしたことがサロン活動を始めるきっかけになったそうです。「助けて」と他人に伝えることはとても勇気がいる。だからこそ、参加者もボランティアも『助けて』と言い合える住民のつながりをつくりたい』と話してくださいました大杉さん。頼れる相手がいる地域は、住民の力でつくれると教えていただきました。

食力もゼロ!? SDGs vol.7



SDGsにつながるちょっとした活動や行動をご紹介します！

安全で栄養があるものを食べることは、生きる上で欠かせません。日本では4月から改正食品表示基準により、遺伝子組み換え食品に関する表示ルールが変更されました。大豆・とうもろこし及びこれらを原材料とする加工食品は「確実に遺伝子組み換えの混入がないもの」と「5%以下に抑えているもの」で違う表示になりました。（消費者庁HPより）
まずは食品を購入する際に、**食品表示の確認**から始めてみませんか？

〒485-0041 小牧市小牧3丁目555番地 ラピオ2階
TEL: 0568-48-6555 FAX: 0568-48-6556
E-mail: wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp HP: https://komakici.jp
開館時間 月〜土/10:00〜21:00 日/10:00〜17:30
休館日: 毎月第3火曜日とその前日（その日が休日の場合は開館、水曜日が休館）



HP



令和6年度に実施する協働提案事業の募集

小牧市では、平成24年度から「協働提案事業化制度」をスタートし、市民（市民活動団体）と行政が、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて協働で事業を実施しています。

提案事業のタイプは、行政が事業の協働相手を募集する行政提案型「はばたき」と、市民（市民活動団体）が行政との協働事業を提案する市民提案型「きらめき」があります。



行政提案型『はばたき』

No.1 【提案事業名】違反簡易広告物除却事業
 提案課 都市計画課（76-1155）

事業概要 市内全域に散見される違反簡易広告物（貼り紙・貼り札・立看板）について、行政のみでの除却には限界があるため、協働により、地域住民自らが除却を行うことで、違反簡易広告物のない良好な地域景観の保護と風致の維持に繋げる。

また、この活動の広がりによって、市民ひとりひとりが美しい都市景観形成の担い手となり、市民が誇りと愛着を持って暮らすためのまちづくりについての意識啓発に繋がることが期待できる。

市民提案型『きらめき』

市民活動団体から提案する、地域や社会での課題の解決や、地域の活性化につながる協働事業を募集します。

【応募資格】

- ① 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。
- ② 「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」に定める事項を理解し、活動できること。
- ③ 原則として団体としての活動実績が1年以上ある団体
- ④ 提案事業の契約を有効に締結できる団体

【受付期間】 5月25日（木）（必着）までに、支え合い協働推進課（市役所本庁舎3階）またはワクティブこまきに提出してください。

※必ず事前にご相談ください。

※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまき、市民センター等に設置してある募集要項をご覧ください。（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）



ボランティア体験会を開催しました！



令和5年1月から3月にかけて、「こまきのボランティア体験会」を行いました！

この事業は「ボランティアをやってみたくけれど、知らない団体に1人で行くのはちょっと不安…」という方がボランティアの一歩を踏み出せるようにと開催しました。

3か月間で、5団体、11日程の体験会が催され、延べ30名以上の方にご参加いただきました。中には、体験会後もその団体で引き続きボランティアに参加したい！という方も。

小牧の社会貢献活動を知り、参加していただききっかけづくりができた体験会、次回の開催は令和5年夏を予定しています。

● 今回の受け入れ団体！

- ・一色コスモサポート学習の会（外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援）
- ・ちごりんの里山（里山の間伐や植樹活動）
- ・一寸奉仕こまき（一人暮らしの高齢者や障がい者のお手伝い）
- ・こまき視覚障がい者の会（視覚障がい者が集まるイベントのお手伝い）
- ・大山川をきれいにする会（大山川のゴミ拾いや花壇の整備）



● ボランティアに参加したいと思ったら

ワクティブこまきではボランティア情報誌「こまボラ」を発行しているほか、「こんな団体はない？」「土日に活動できる団体は？」「ボランティア保険は？」など、ボランティアについての質問や相談にお答えします。

また、窓口で「ボランティア登録」をしていただくと、専用公式LINEに送られてくる情報を見て、参加したいボランティアに気軽に応募することができます。

「ボランティアしてみたい」と思ったら、ワクティブこまきまでお問い合わせください！

● 参加者の声

今まで全く知らなかった分野について、様々な考えを知ることができ、きとでも有意義なものだったと感じました

非常に楽しくて、今後も続けたいと思いました

市民と行政のテーマ別意見交換会

今年度も、令和5年1月に市民と行政のテーマ別意見交換会を開催しました。本事業は、市民・行政から意見交換したいテーマを募集し、テーマに関連のある団体・行政職員に意見交換をしてもらうものです。

共通したテーマに取り組む方々が集まることによって、お互いの課題や活動状況等を話し合うことができました。

参加した団体の方からは、「お互いの目的を共有し、一緒に課題について考えることができ良かった」と喜びの意見をいただきました。行政職員からも「様々な立場の人と意見交換することで、見えていなかった点に改めて気づくことができた」と感想があり、話し合った内容は今後のまちづくりに活かされていきそうです。



● 今回のテーマ（一部）

- ・様々な取り組みを連携して、より効果的に健康づくりをサポートするためには…
- ・児童・生徒の情報モラル、プログラミング思考力の育成を進めていくには…
- ・障がいがあったときに使える社会資源の情報を得られるようにするには…